



## ルリグ人狼 ～始まりのルリグの気まぐれ～

### 繭(ゲームマスター)のための進行説明書 ver.WX18

以下は繭（ゲームマスター）による進行の流れです。しっかりと司会役を務めましょう。

繭だけゲームに参加できないなんておかしいよね

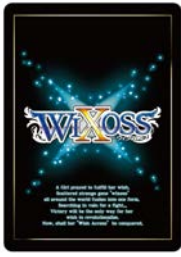
- ★繭はメモ用紙と筆記具があるとよいです。
- ★ジェスチャー用にWIXOSSカードを用意しましょう。
- ★なりきりプレイは楽しいですが、繭の発言はヒントになりかねないので気を付けて。

#### ゲームの準備

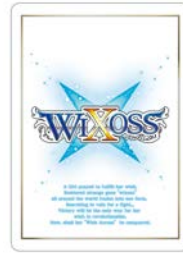
繭「じゃあ、繭のルールに従ってね？」

- ①ゲームに使用するルリグの組み合わせを決めます。推奨を参考ください。
- ②シャッフルして、プレイヤーに配ります。
- ③プレイヤーにどのルリグかを把握させます。
- ④プレイヤーのみが確認したら、能力を使った時の決め事をします。

繭「そのルリグが始まりのルリグだった場合は黒のカードを、セレクトールリグだった場合は白のカードを見せるわ」



←始まりのルリグだった場合



←セレクトールリグだった場合

繭「質問はある？ないよね？じゃあ、……オープン」

準備が整い次第、ゲームが始まります。

#### 最初の夜

繭「初めの夜。目を閉じておやすみなさい。そして、繭の言うことを聞いて」

言い方は自由ですが、ルリグ全員に目を閉じてもらいます。それを確認後。

繭「〇〇（ルリグ名）、目を開けて」

下記の順番で、ルリグの目を開けさせて、誰がどのルリグなのかを把握します。

ナナシ → 始まりのルリグ → ピルルク → ドーナ →  
→ リル → メル → ママ → ウムル/タウィル → グズ子 → カーニバル

複数いる場合やウムル/タウィル（プライマル）はアイコンタクトで互いを認識させましょう。  
メモをしておくといいです。

繭「〇〇（ルリグ名）、目を閉じて」

合図で目を閉じます。上記の順で確認しましょう。

#### 最初の昼

繭「さあ目を覚まさない、あなた達が戦う朝が来る」

合図ともに全員が目を開け、ゲームが始まります。プレイ人数に合わせて、制限時間を伝えましょう。

制限時間めやす：4ルリグの場合3分 5ルリグの場合4分 それ以上は5分

繭「あなた達の中に、“始まりのルリグ”が紛れ込んだ。そのルリグはセレクターのモノとなったルリグが嫌いみたい。追い出されないように、追放したほうがいいわ、だけど、ここは繭のルールに従って。今から〇分あげる。時間内で、話し合っ。時間が来たら、繭の合図で追放するルリグを決めるね」

時間を測りましょう。残り時間を言ってあげると優しいですが、必要以上に干渉せず、繭の目線でルリグたちのバトルを楽しみましょう。時間が来たら……。

繭「じゃあ、時間ね！誰を除外するかせーので指差して。せーの」

セリフは自由ですが、各プレイヤーが怪しいと思う人を一気に指差しさせましょう。

---

#### リルがオーネストを発動していた場合

リル「オーネスト。私は私、リル。繭、貴方の言いなりにはならないわ」

その日に限り繭（ゲームマスター）の言うことを聴かずにリルのみが指差しします。

繭「じゃあ、あなたは敗れたルリグ。せっかくだから、繭の横で見えて」

セリフは自由ですが、追放されたプレイヤーはゲームから外れます。役職は明かしてはいけません。

---

#### ママ（カンニング）が追放された場合

ママ「あらあらあら、カンニング。私は爆弾を撒きました」

ママは、除外が決まった時点で正体を明かし誰か一人を除外できます。  
この時議論はできません。

繭「勝手に決めるなんておかしいよね……いいわ、あなた達は繭の横で見えて」

——その後すぐ夜になります。

## その夜

繭「夜になったわ。あなた達はバトルに疲れて眠る」

合図ともに全員が目を閉じます。

繭「〇〇（ルリグ名）、目を開けて」

以下の順番で、目を開けさせて情報をやり取りします。

既に該当のルリグが除外されていても、今回のゲームの参加ルリグについてはそこにいるかのよう  
に呼び出して処理を行っているように演じましょう。繭は得意なはずです。

---

### （1）ナナシ

繭「ナナシ、あなたの能力はブラインド。雲を撒いて、誰かを守っていいわ。

　　だけど、あなた自身は守れないし二夜続けて同じルリグを守れない」

※守りたい人を指差ししましょう。

---

### （2）始まりのルリグ

繭「始まりのルリグ、あなたは何故生まれたの……。誰かひとりをゲームから除外して」

※除外したい人を指差ししましょう。

---

### （3）ピルルク

繭「ピルルク、因果はめぐるわ、能力はピーピング。誰かひとりの心を見抜く」

※正体を知りたい人を指差ししましょう。

繭「あなたは知っている。そのルリグは……」



カードで伝えましょう。(それ以外の方法でも構いません)

---

#### (4) ドーナ

繭「ドーナ、あなたの能力はエスケープ。隠れて見ていたよね。お昼に追放されたルリグは……」

ピルルクと同じように、カードで伝えましょう。(それ以外の方法でも構いません)

---

#### ルリグの行動終了

繭「〇〇(ルリグ名)、目を閉じて」

それぞれのルリグに目を閉じさせてから次のルリグに目を開けさせましょう。

#### 以降の昼

繭「さあ目を覚まさない、あなた達が戦う〇日目の朝が来る」

合図ともに全員が目を開けます。プレイ人数に合わせて、制限時間を伝えましょう。

繭「始まりのルリグは“あなた”を選んだわ。さようなら。せっかくだから繭の横においで」

指を差すまたは、プレイヤー名を教えてください。捨て台詞は不要です。

---

#### ブラインドにより守られるか、カーニバルを選択した場合

繭「始まりのルリグは誰も除外できなかった」

---

ママ（カンニング）が追放された場合

ママ「あらあらあら、カンニング。私は爆弾を撒きました」

ママは、除外が決まった時点で正体を明かし誰か一人を除外できます。

この時議論はできません。

繭「勝手に決めるなんておかしいよね……いいわ、あなた達は繭の横で見てて」

---

グズ子が始まりのルリグに襲撃された翌々日の朝を迎えたとき

繭「朝が来たら、〇〇と△△が除外されていたわ」

※除外されたのが2人ということは伝えますが、どちらがグズ子か、というようなことは伏せておいたほうがいいでしょう。

---

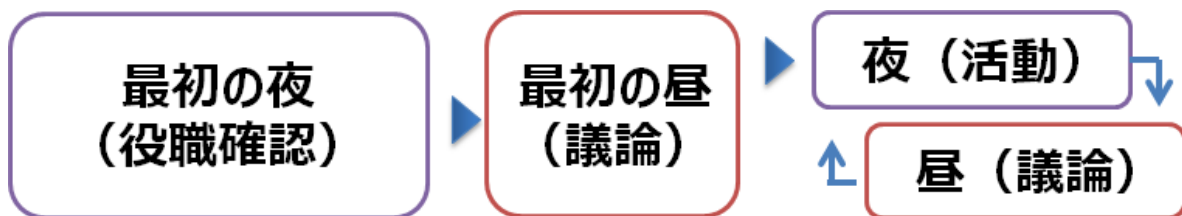
議論の開始

繭「じゃあ、時間はあと〇分、今日の一人をきめてちょうだい」

その後、議論します。

制限時間めやす：4人の場合3分 5人の場合4分 それ以上は5分

その後、夜 → 昼 → 夜 の順でゲームを進めていきます。



## 勝敗

下記いずれかの状態になったら、繭はゲームの終わりを告げます。

告知は、全員が目覚めている昼に行われます。

※メルは始まりのルリグ陣営ですが、人数としてはセクタールリグ陣営です。

すべての“始まりのルリグ”が除外された

繭「……すべての始まりのルリグは居なくなったわ。

あなた達はセクターの元に戻る。それがあなた達の選択なら——。」



セクタールリグの勝利です。

※メルは負けです。

残っている“セクタールリグ”と“始まりのルリグ”が同数になった

繭「……始まりのルリグはもう迷わない。

残ったルリグを消して、新たなセクターバトルを探す——。」



始まりのルリグの勝利です。

※メルは勝ちです。

“セレクトールリグ”あるいは“始まりのルリグ”の勝利条件を満たした時点で  
カーニバルが生き残っている

繭「……あなた達は道化を見抜けなかった。

彼女は全てを消し、新たな争いを生む——。」

第三勢力の単独勝利です。

繭を演じるもよし、淡々と進めるもよし、進行の流れを間違えずに、楽しく進行しましょう。

繭「次は繭もゲームに混ぜてね……」